

## Paraclinoidal meningiomaの手術における視障害を防ぐための戦略

Strategy to preserve visual function in paraclinoidal meningioma surgery

日暮 雅一, 川原 信隆, 村田 英俊

横浜市立大学医学部脳神経外科

Paraclinoidal meningiomaの手術において、合併症を防ぐために配慮すべき項目は多いが、特に視障害は重要であろう。視障害は、脆弱化した視神経自体への物理的的刺激や上下垂体動脈の血流障害により悪化する可能性がある。視神経管内に腫瘍が存在する場合は、視神経管解放の操作および腫瘍の剥離操作に特に注意を要する。また、前床突起内側部に主座がある場合、腫瘍内側に上下垂体動脈を認めるため、後交通動脈の穿通枝同様温存に努めるべきである。今回我々は、ここ1年間での自験7例を、AI-Meftyが1980年提唱した3分類に分け、手術手順および視神経に対するリスクを検証した。特に、視神経と腫瘍の間にクモ膜が存在しない場合の剥離は視障害悪化のリスクが高まると思われる。これら問題点に対して注意していることを術中ビデオを用いて報告する。